

大雪高原温泉沼めぐり登山コース

利用の注意事項

登山口

「ヒグマ情報センター」が登山口になっています。ここでコース利用のレクチャーを受けてから出発してください。

入山・下山時刻

- 入山時刻 7:00～13:00
 - 下山時刻 15:00までに
ヒグマ情報センターへ下山
- 各地点の最終下山時刻
- 高原沼 13:00
 - 大学沼 13:30
 - 緑沼 14:00

食事できる場所

- 緑沼 ●大学沼 ●高原沼
- この3箇所以外では食事は控えてください。コンロなどの火気の使用による湯沸し、調理は、発生した匂いがヒグマを誘引するため、コース内すべての箇所禁止しています。

至 忠別岳

平ヶ岳



三笠新道はヒグマが頻繁に出没するため例年7月上旬からシーズン終了まで、通行禁止となっています。

- 「ヒグマ情報センター」で入林者名簿に記入してください。
- コースには湿地帯があるので長靴や登山靴に履き替えてください。
- 植生保護とヒグマとの遭遇を避けるため、歩道以外を歩くことは禁止されています。
- たき火、植物や昆虫採取は動植物保護や景観保全のため禁止されています。
- ゴミはすべてお持ち帰りください。
- 携帯トイレをご用意ください。

ヒグマ情報センター

登山口

ヒグマ情報センターから各地点までの所要時間

地点	ヒグマ情報センター	分岐	土俵沼	滝見沼	緑沼	えぞ沼	式部沼	大学沼	高原沼	空沼
所要時間	スタート	30分	65分	80分	105分	125分	125分	135分	135分	155分

※平成28年度の台風被害のため空沼～分岐までは通行止めです。

←2時間30分 3時間→
4.3km(緑岳まで)

大雪高原温泉沼めぐり登山コース周辺は、 ヒグマの生息域です。

ヒグマは、時には危険な動物となりますが、私たちがヒグマのことをよく知り、突然の遭遇を避けるよう行動すれば、ヒグマとともに高原温泉の自然を楽しむことができます。

ヒグマに近づかないために

歩道の曲がり角などで、突然、人とヒグマが遭遇してしまうと、ヒグマも驚いて人を襲うことがあります。散策中は、このような状況をつくらないようにすることが肝心です。

ヒグマに自分の存在を知らせる

音を出して、ヒグマに自分の存在を知らせましょう。多くのヒグマは人よりも先に気づいて立ち去ります。音を出すもの、鈴をぶら下げたり、見とおしのきかない場所で手をたたいたり、笛をふいたりするのが有効です。鈴はヒグマ情報センターで販売しています。

単独行動は避ける

単独行動よりも集団で行動した方が、ヒグマも人の存在に気づきやすくなります。また、ヒグマと接近遭遇した場合、集団の方がヒグマは襲ってきません。

ヒグマの餌となるものは捨てない、残さない、落とさない

ヒグマは、味を覚えたものに執着します。残飯（ラーメンやコーヒーの残り汁も）、お菓子の包紙や清涼飲料のペットボトルを捨てないでください。味を覚えたヒグマが、これらを持っている人に近づいてしまうことがあります。

もしも、ヒグマに出会ったら



まず落ち着いて、冷静にゆっくりと行動しましょう。

決して走らない

ヒグマが本能的に反応して追いかけてきます。背中を向けず、ヒグマを見ながらゆっくりと後退します。グループで行動している場合は、集団でかたまり、ゆっくりと後退します。

仔熊を見つけたらその場を離れる

仔熊の近くに必ず母熊がいます。母熊を警戒しながらその場を慌てずに立ちさります。

ヒグマの写真撮影をするときは

- ・ヒグマを撮影するために、コース周辺にエサを置いたり与えたり、ヒグマに近寄ることは、ヒグマが人馴れする原因となり他の登山者が危険にさらされることになるので、決してしないでください。
- ・ヒグマを撮影するために、無人航空機（ドローン等）を接近させると、ヒグマを刺激してその行動を変化させ、登山者の安全を脅かす可能性もあるので、危険です。なお、無人航空機を飛行させるためには森林管理署の手続きが必要です。

